

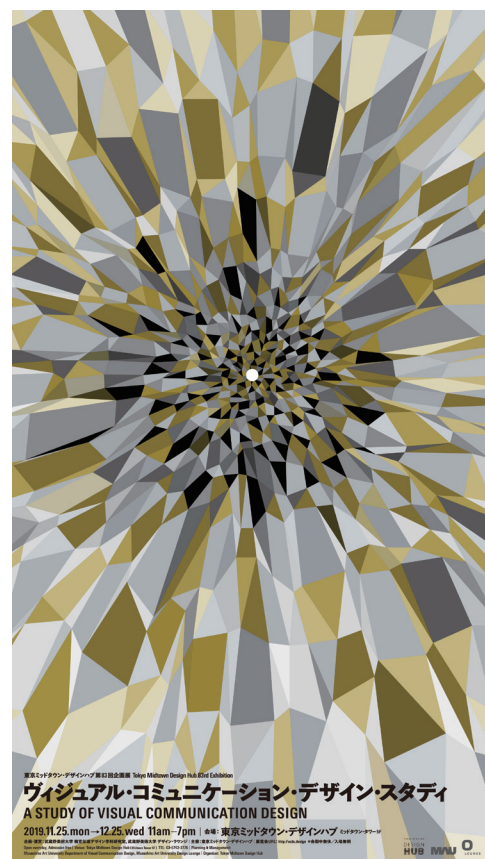
Musashino Art University

「ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ」

2019年11月25日(月) ～ 12月25日(水)
東京ミッドタウン・デザインハブにて開催

武蔵野美術大学（東京都小平市、学長 長澤忠徳）は、東京ミッドタウン・デザインハブにて、東京ミッドタウン・デザインハブ第 83 回企画展「ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ」を開催します。

武蔵野美術大学は東京ミッドタウン・デザインハブ第 83 回企画展「ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ」を開催します。本学視覚伝達デザイン学科では、ヴィジュアル・コミュニケーションの未来を拓き、人と人・社会・情報を繋ぐ専門家の育成を教育目標に、これまで多彩な人材を社会に送り出してきました。その教育の特徴は身体性と感覚の覚醒を促し、クリエイティブ・リサーチを重視した基礎課程であり、加えて多様で高度なデザイン専門課程と、現在進行形の社会とその歴史を見据えた創発的デザインとの統合を目指す教育理念にあります。本展は 2002 年以降の教育成果を公開すると共に未来のヴィジュアル・コミュニケーション・デザインを展望する機会にしたいと考えています。会期中には本学教員が社会の様々な分野で活躍する卒業生とともにデザインの未来を考察いたします。広くデザイン領域に関心をお持ちの方々の参加を歓迎いたします。



東京ミッドタウン・デザインハブ第 83 回企画展 「ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ」

- 会 期：2019年11月25日(月)～12月25日(水) 会期中無休
- 時 間：11:00 - 19:00
- 会 場：東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区赤坂9丁目7番1号ミッドタウン・タワー5階)
- 入場料：無 料
- 主 催：東京ミッドタウン・デザインハブ <https://designhub.jp/>
- 企画・運営：武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

- お問い合わせ -

武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5 階 Tel: 03-3470-7221, Fax: 03-3470-7225
ビジュアル画像をご入用の際は、上記(担当: 加倉井 d-lounge@musabi.ac.jp)まで、ご連絡ください。

視覚伝達デザイン学科における教育の特質

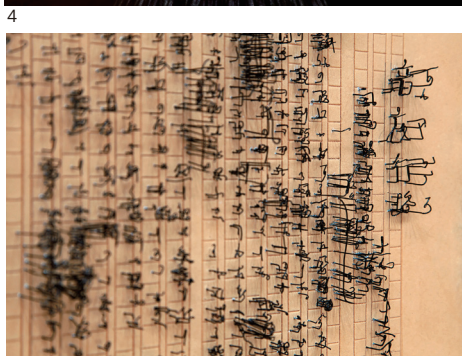
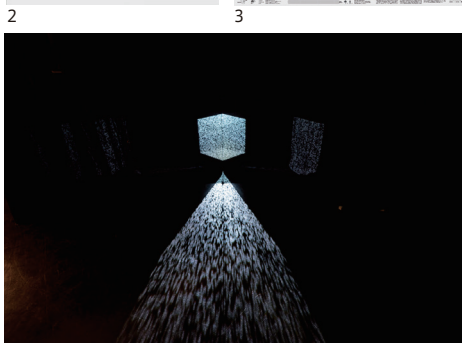
視覚伝達デザイン学科の教育の特質は、まず基礎課程における基礎概念を入門ととらえず、全ての造形を支える最も重要な基盤と考えていることです。ここでは学生個々が持つ感性と知覚能力の覚醒とその開発が目指されます。それを前提に身体拡張としてアナログからデジタルに至る多様なメディアを工房教育も含めて実践的に学びます。さらに環境を観察し情報を収集、さらにそれらを編集、構成することのクリエイティビティ（創造性）とダイナミズム（楽しさ）をデザインの基礎として学ぶのです。その為のユニークなカリキュラムが用意されています。

次の特徴は高学年において 30 種以上の多様な専門教育のプログラムが用意されていることです。学生はこれら先端のかつ高度なデザイン実務と理論を主体的に選んで組み合わせ、多様な専門性を自らが統合していきます。いわゆる研究室が用意したコースを学生が選ぶことは大きく異なる特徴を持っています。

最後に上記の専門教育と並行しながらコミュニケーションを情報、環境、ライティング（writing）スペースという三つの観点から捉え、既存のデザインにはない未知のデザインを探究する授業が用意されています。高学年においてこのプロフェッショナル（専門）教育とアドバンス（未来思考）デザイン探究の双方が設定されている点が本学科の最も大きな特徴だと思われます。その理由は教育の場こそが未来のデザインを切り開く創発的な場でありたいと願っているからに他なりません。優秀な学生たちはお互いが切磋琢磨する中でこの複雑なプログラムをこなしてくれます。最終的に学生による学びの集大成である卒業制作では、非常に高度な専門性を実現したもの、学生個々の社会への鋭い洞察を含むもの、今日的な観点から埋れた過去の事象に新たな光をあてたもの、未来を予見するアヴァンギャルドな挑戦等々が生み出されてきました。

今回の展示ではここ十数年の教育の成果を振り返り、また本学科で学び社会に巣立った卒業生とともに、新たな未来の教育を考える機会にしたいと念じています。

寺山祐策



展示作品から

2002 年度から 2018 年度までの卒業制作優秀作品を中心とした約 90 点を展示します。加えて関連キーワードから各作品の特徴を抽出するデジタルアーカイブも公開予定。様々な観点から視覚伝達デザイン教育の成果を読み取ることがができる展示を行います。

- 1 視覚伝達デザイン学科カリキュラムチャート（『ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ』より）
- 2 「THE POSTER OF CASSANDRE STYLE」伊藤 裕平 | 2007 年度
- 3 「里山の連環」村田智 | 2012 年度
- 4 「眼とモルフェー」演元拓 | 2017 年度
- 5 「行為の軌跡 活字の裏の世界」荒井美波 | 2012 年度
- 6 「水仙月の四日」茂木美桜 | 2017 年度
- 7 「TSUGIMOJI」渡邊佳代子 | 2013 年度



- お問い合わせ -
武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5 階 Tel: 03-3470-7221, Fax: 03-3470-7225
ビジュアル画像をご入用の際は、上記（担当：加倉井 d-lounge@musabi.ac.jp）まで、ご連絡ください。

<関連イベント>

アートディレクター、インタラクショナルデザイナー、書体デザイナー、絵本作家、鍼灸師……。

従来のデザインの枠組みを超えた様々な分野で活躍する卒業生たちと、彼らを教育の場で支えてきた教員達によるトークイベントを開催します。デザイン教育とは何か、何によってクリエイションが創発されるかを知ることができる対話となるでしょう。

トークイベント「既存の枠組みを超えて」

Part 1: 12月1日(日) 13:00-14:30

宇野由希子 (書体デザイナー)

河野奈保子 (デザインコーディネーター)

西沢一登 (VIVITA・デザイナー)

Part 2: 12月15日(日) 13:00-14:30

イシカワミチコ (みつばち鍼灸院 院長)

岩淵真理 (絵本作家、環境教育コミュニケーション研究者)

小杉幸一 (クリエイティブディレクター／アートディレクター)

Part 3: 12月15日(日) 16:00-17:30

沢田耕一 (視覚伝達デザイン学科客員教授)

新島実 (視覚伝達デザイン学科名誉教授)

寺山祐策 (視覚伝達デザイン学科主任教授)

進 行:

石塚英樹 (視覚伝達デザイン学科准教授)

北崎允子 (視覚伝達デザイン学科准教授)

中野豪雄 (視覚伝達デザイン学科准教授)

会 場: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (東京ミッドタウン・デザインハブ内)

参加費: 無料

定 員: 100 名

申込方法: 以下お申込みページよりご予約ください。

<https://vcds2019.peatix.com>

レセプション・パーティー

会 場: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (東京ミッドタウン・デザインハブ内)

日 時: 12月1日(日) 16:00-17:30

- お問い合わせ -

武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5 階 Tel: 03-3470-7221, Fax: 03-3470-7225

ビジュアル画像をご入用の際は、上記(担当: 加倉井 d-lounge@musabi.ac.jp) まで、ご連絡ください。